

# リー ジチマンタル

2022, 06, 20  
羽地幼・小学校  
NO. 8



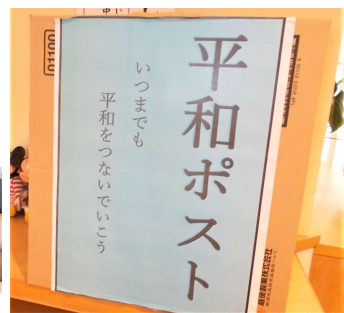
梅雨明け間近。熱中症に注意！  
○帽子をかぶりましょう  
○暑い時はマスクを外しましょう  
○水分をこまめにとりましょう

## 平和月間の取組

戦後、羽地には、収容所が置かれ田井等市となり7万人程の人たちが生活をしていました。病院や孤児院、映画館、大衆浴場、酒場などの施設があり、とても重要な地だった。本校運動場が戦車置き場・モータープールとして使用されるなど、沖縄戦を学ぶ材料は豊富にあります。本校では6月を平和月間と設定し、新聞の切り抜きの掲示やビデオ等の視聴、教師による話などいろいろな取組を展開しています。いくつか紹介します。(6年生の学習の様子は、NHKやQABで取り上げられました)



『羽地での沖縄戦』【6年】  
講師・川満彰氏(名護市文化財保存調査員)  
※子どもの感想  
○山の中に逃げていた羽地の人たちが山を下り自分の家に戻ったら、中南部の人たちが住んでいて、豚小屋や台所で暮らした。その共同生活を三ヶ月もしていた。食料を探しに行くのは男の子の役目で、羽地から今帰仁まで歩いて行っていた。(中略)ということが分かりました。戦争は絶対にしてはいけない、とても怖いことだと思いました。(6年上原莉依奈)



## 千羽鶴【平和ポスト】

○ひいおばあちゃん・おじいちゃんがとても大変な経験をしたから、今の平和があるんだと思います。ここまでつないくれた命を大切にしようと思いをきらめていたと思います。それを乗り越えた人たちはとつてもすごいなと思いました。(中略)戦争はもう2度と起してはいけない。戦争を生かして平和って大切なんだということをたくさんの人に伝えていきたい。(6年石川萌々花)  
○戦争は2度と起してはならない。沖縄戦は多くの命が奪われ町が破壊された。中南部から続々と羽地へと連れてこられた。とても悲惨な状況の中、人々は食べ物を探し、大切な家族の命・小さな命を守っていた。日本兵は食べ物奪い、時には男女子ども関係なく殺した。このような悲惨なことが起こらないようにするために平和を保っていくことが何よりも大事な事だと思った。(6年成田楓可)

児童会の取組として、全児童が折り鶴に挑戦しています。児童玄関に設置された『平和ポスト』。休み時間になると折った鶴をポストに投函しようとする子ども達が集まっています。おうちの人に協力してもらって投函する子も。集められた折り鶴は、十一月に実施予定の六年生修学旅行の平和集会で奉納する予定です。